

会 議 録

会議名	平成 28 年度 藤江児童館運営委員会	
開催日時	平成 29 年 1 月 27 日（金） 午前 10 時から午前 11 時 45 分まで	
開催場所	藤江児童館 図書室	
出席者	委員	田島藤江区長、加藤藤江小学校教頭 石川更生保護女性会支部長、竹内主任児童委員 鈴木民生・児童委員副地区長、石川駐在所長 阿知波交通指導員、加藤母親クラブ会長 神谷児童クラブ保護者代表 竹内児童クラブ保護者代表
	事務局	神谷児童課長、杉浦指導保育士、新家保育係長 三井館長
欠席者	小田寿会会長	
議題	1 平成 28 年度 児童館活動状況 2 平成 29 年度 児童館活動計画 3 日頃のコミュニティー活動等に対する参加者の意見交換	
傍聴者の数	1 人	
審議内容	◆児童課長（あいさつ） ◆藤江区長（あいさつ） （委員、事務局 自己紹介） ◆事務局 配布資料に基づき説明 （1）平成 28 年度活動状況について ＊児童クラブについて委員が補足説明 子どもが男児なのであまり児童クラブのことを話さないが、好きな工作（毛糸遊び）の時は 4 時から一般にかわり遊んでいた。いろいろな工作や遊びを考えてくれていてありがたい。 児童館まつりやお楽しみ会では楽しいことを設定していて子どもも楽しみにしている。 ＊母親クラブについて委員が補足説明 会員数 50 名。単発講座では人数集めで苦勞する 때가 あった。親子体力アップ体操は月 2 回、1 か月 500 円の会費で行っている。児童館まつりで開催しているバザーは大変だが収益になるのでやってよかった。 （2）平成 29 年度活動計画について	

	(3)その他 児童館利用状況について 事務局から資料に添って説明後、質疑応答および意見交換を行う。 ◇委員 利用時間が7時30分～19時までと拡大したが利用率はどのくらいか。 ◆事務局 7時30分からの利用は必ず5人程はいる。9時ごろまでには、ほぼみんな集合する。18時以降の利用も10人程はいつもいる。毎日19時まで残っている。 ◇委員 おやつは食べていないけれどどうなのか。 ◆事務局 今検討中。今の段階では5時以降残る子が食べ、6月ごろよりはじめられるように話を進めている。アレルギーの問題、おやつ の保存方法、持参の仕方など細かいことは今後館長会で検討していく。 ◇委員 児童クラブの値上げは厳しい。兄弟での利用者はかなりの金額になるので兄弟がいる場合は2人目半額になるといい。 ◆事務局 平成10年からの見直しで変わったばかりということもあり、またすぐ見直しということにはならない。児童クラブは家庭で見えないお子さんを預かる事業、職員の賃金確保、時間の延長などの理由で費用値上げなので理解してもらいたい。 法の改正に伴い“おおむね10歳まで”とされていた範囲が“小学生まで”に拡大されたため、東浦町でも検討しているところである。本来なら6年生までを受け入れていかなければいけないが当児童館では場の確保ができないため難しい。小学校への移行も考えている。現在、保護者向けアンケート（12月4・5・6年生対象に実施）の集計を行い、住民の要望も把握しているところである。児童課、学校教育課、小学校と連携して進めていきたい。藤江小学校に関しては、児童数が減少傾向、隣接しているということで今後小学校への移行を協議していきたい。ただ、備品の関係、セキュリティーの問題、7時までの鍵締めの問題がある。5時までを学校で過ごし5時以降は児童館に戻ってくるという考えはどう
--	---

	かとも思っている。 ◇委員 児童館の駐車場を利用するときはプレートを付けてもらうことの徹底をお願いしたい。 ◆事務局 児童クラブ便りなどで知らせていく。 ◇委員 あいさつを低学年はまだできるが、高学年になると無視する子もいて残念な気持ちになる。家庭でも挨拶していない感じがする。挨拶の指導を引き続きお願いしたい。 ◆事務局 児童館でも挨拶は大切にしているが、学校でできていても児童館に来るとできない子が多い。児童クラブ便りで保護者にも伝えてはいる。その場に合った挨拶ができるように、また、挨拶すると気持ちがいいことを伝えていきたい。 児童クラブの定員が増えたこともあるが、集団として子どもを捉えると無理が生じる面がある。集団として生活していく上で我慢すること、人に優しくすること、人に合わせることも大切なことだが、なるべく個を大切に、また、遊びは児童クラブだからやらなくてはいけないという考えをしないようにし、いろいろなものから選択できるように配慮している。 ◇委員 小学校も道德の教育が正式な教科ではないが行っていく。通知表でも文章化の評価はしていく。学校の教諭の前と学校以外の人の前の態度が違うのは当然のことである。 ◆事務局 今年度より、ブックスタートが始まった。東浦町に転入する方が増えてきて、なかなか地域に打ち解けられずひきこもってしまうのを防ぐため、必ず受けにくる健診時に本の引き換え券を配り、図書館と児童館で受け取れるようにして、町の施設を利用してもらうきっかけにしてもらいたいと思うが、利用が少ない。今後の課題である。特に藤江児童館は場所がわかりにくいということもある。また、年配の男性の方のひきこもりについて、ぜひ地区毎にきっかけ作りをしていき児童館を利用してもらいたい。また、児童館という名称も入りにくい原因になっているので『～～センター』『～～広場』など名称の変更を考えるのもありだろう。
--	--

	◇委員 今年度から、児童館に生活安全指導員がいないがどうか。 ◆事務局 生活安全指導員ができたのは、防犯の見守りをしてもらうため 本来の目的を検討したうえ児童館への配置をなくした。そのため にも大人(男性)の出入りを増やしたい。 ◇委員 コミュニティセンターは知っているが児童館を知らない人が多い。また、赤ちゃん訪問するが留守家庭も多い。母親の出かけら れる場所も多様化している。 ◇委員 なかなか児童館に手伝いに来られていない状況だが、更生保護も 人員確保が厳しい状況である。 ◆事務局 皆様からの意見を基に、これからも地域に根ざした児童館運営 をしていきたい。 本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、午前 11 時 45 分に閉 会を宣言。
備考	児童館事業の一部を写真にて紹介(掲示)